



栃木県で豚熱 (CSF) が発生しました

国内 90 例目

2月16日、栃木県の養豚農場において豚熱の患畜が確認されました。国内での発生は8月31日の佐賀県の事例以来6カ月ぶりですが、引き続き感染リスクの高い状況にあります。

発生概況	所在地 : 栃木県栃木市 飼養状況 : 約1,100頭 疫学関連施設 : 栃木県芳賀町 (1施設)
経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木県は、2月15日(木曜日)、同県栃木市の農場から、飼養豚で異常が見られる旨の連絡を受け、当該農場に立ち入り、病性鑑定を実施しました。</li> <li>・栃木県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門で精密検査を実施したところ、2月16日(金曜日)、豚熱の患畜であることが判明しました。</li> </ul>

豚熱ウイルスを農場へ侵入させないために

長野県畜産広報第647号でもお知らせしているとおり、県内では野生いのししの遺伝子検査陽性事例が確認されており、また、近隣県でも同様であることから、農場へ豚熱ウイルスが侵入するリスクは高い状況が続いています。

引き続き、飼養衛生管理基準の遵守を徹底するとともに、以下を参考に効果的な消毒を行い、ウイルスの侵入防止に努めてください。

1 畜舎周囲 (地面)

消毒薬 : 消石灰

使用方法 : 土壌または床面が白くなるように散布し、維持する  
粉末の状態で1m<sup>2</sup>あたり0.5~1.0kgを直接散布

注意点 : 雨や長時間の放置で効果がなくなる。まき直しが必要

消毒薬は、有機物(泥、排泄物等)や紫外線、低温により効果が低減します

2 車両

消毒薬 : 逆性石鹼

使用方法 : 有機物を除去した後、希釈した薬剤を適量散布

注意点 : タイヤ周り、フロアマットの表面・裏面を念入りに

【参考】  
松本家保 HP  
豚熱対策



3 踏込消毒槽

消毒薬 : ハロゲン塩(塩素系)、複合(フェノール系)、両性せっけん

使用方法 : 有機物を除去した後、希釈した薬剤に浸漬(~30秒間)

注意点 : 汚れたら交換、汚れていなくても毎日交換

家畜の異状通報、飼養衛生管理に関する相談は家畜保健所まで

家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123	飯田	0265-53-0439	長野	026-226-0923
伊那	0265-72-2782	松本	0263-47-3223	県庁家畜防疫対策室	026-235-7232